



# DV被害を経験したシングルマザーと 子どもに関する実態聞き取り調査 概略版

認定NPO法人女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ

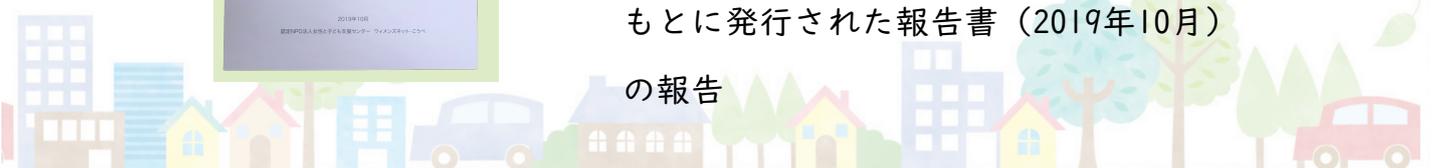
2019年10月



## 今回の報告について



今回の調査報告は、ウィメンズネット・こうべが2019年に実施した、「DV被害を経験したシングルマザーと子どもに関する実態聞き取り調査」およびその調査をもとに発行された報告書（2019年10月）の報告





## 2019年調査の目的

- DV被害女性とその子どもたちが、夫と別居・離婚したのちにどのような生活を送り、その中でどのような困難を抱えているかを明らかにすること
- DV被害女性とその子どもたちに必要な支援のあり方を検討すること
- DV被害女性と子どもたちが、安心して生きられる社会に向けて、調査結果をもとに行政や地域に支援の充実を働きかけること

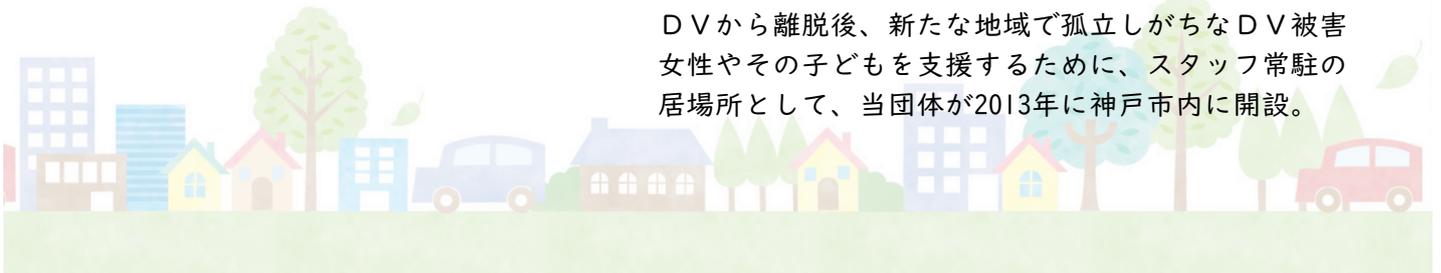


## 2019年調査の概要①調査協力者

- 調査協力者は、当団体が支援を行なったDVを経験し離婚したシングルマザーと、当団体の運営するWACCAを利用したことのある、DVを経験し離婚したシングルマザー計18名の女性。

(注) WACCA・・・Women And Children Care Centerの略。

DVから離脱後、新たな地域で孤立しがちなDV被害女性やその子どもを支援するために、スタッフ常駐の居場所として、当団体が2013年に神戸市内に開設。





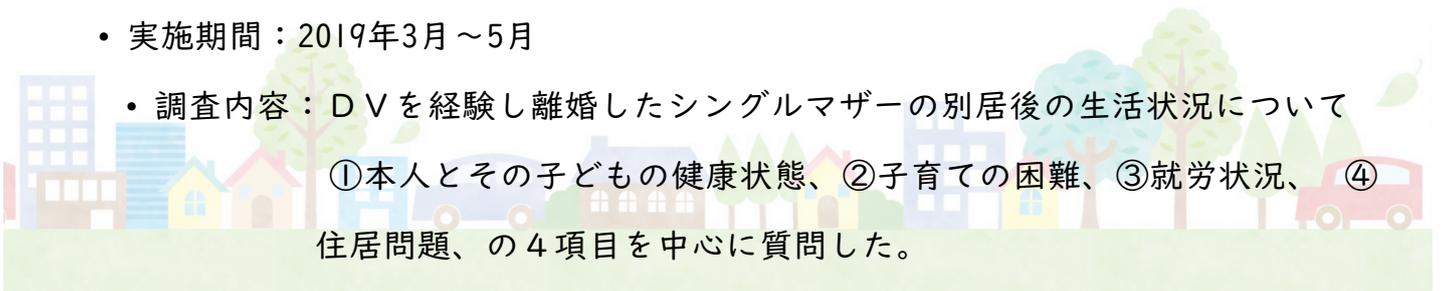
## 2019年調査の概要①調査協力者

＜一覧表は、配布に際し削除＞



## 2019年調査の概要②

- 調査方法：対面によるインタビュー調査。インタビューを行うスタッフ1名および記録員としてボランティアスタッフ1名が調査を実施した。さらに、精神的ケアに対応できる専門知識を有するスタッフ1名が必要に応じて同席した。
- 実施場所：当団体事務所もしくはWACCA
- 実施期間：2019年3月～5月
- 調査内容：DVを経験し離婚したシングルマザーの別居後の生活状況について  
①本人とその子どもの健康状態、②子育ての困難、③就労状況、④住居問題、の4項目を中心に質問した。





## 2019年調査結果

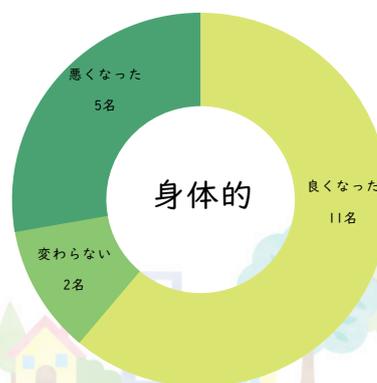
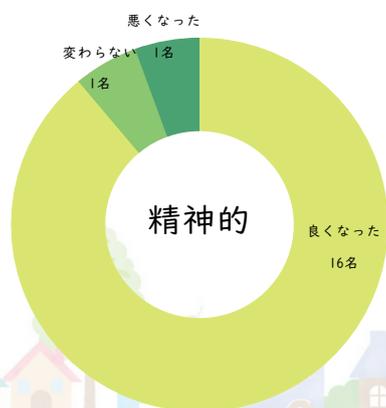
1. 本人とその子どもの健康・生活状態
2. 子育ての困難
3. 就労状況
4. 住居問題



### 1-1. 本人の健康状態



①夫と別れてからのあなたの健康状態はどうか？



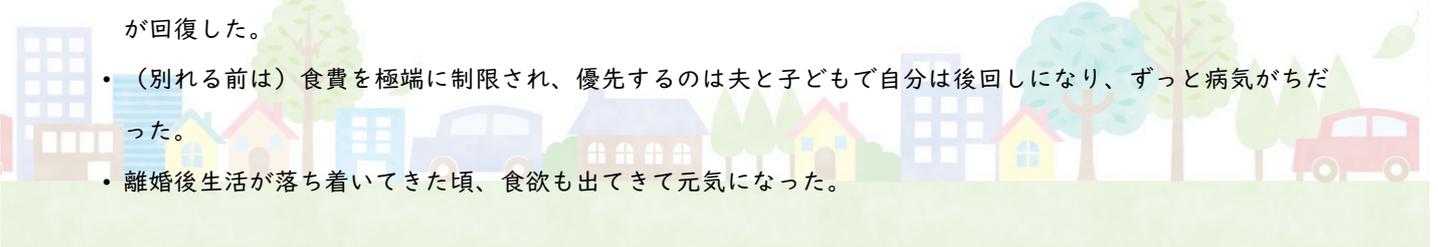


## 1-1. 本人の健康状態

①夫と別れてからのあなたの健康状態はどうか？【自由回答】

### 【良くなった】

- 別れてから、（夫に）殴られない・会わなくていい、一緒に生活をしなくていいという安心感が得られた。
- 身体的な傷がなくなった。
- 体が震えなくなった。
- 調停後2~3か月後、経済的見通しがついて、なんとかやっていけると思えたことが不安の軽減に役立ち体調が回復した。
- （別れる前は）食費を極端に制限され、優先するのは夫と子どもで自分は後回しになり、ずっと病気がちだった。
- 離婚後生活が落ち着いてきた頃、食欲も出てきて元気になった。

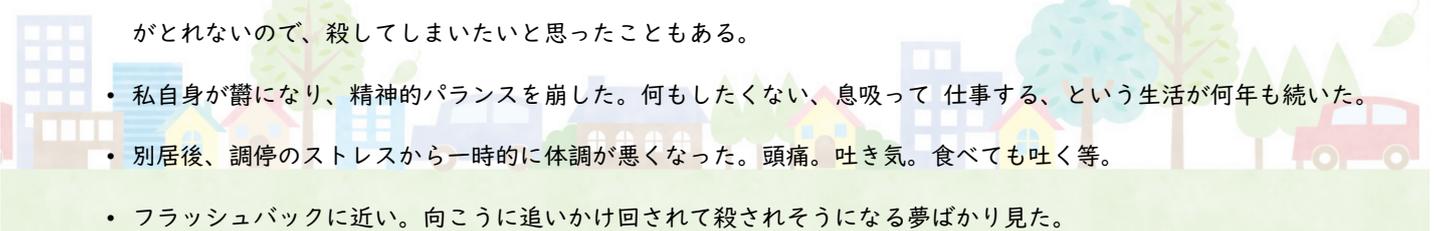


## 1-1. 本人の健康状態

①夫と別れてからのあなたの健康状態はどうか？【自由回答】

### 【悪くなった】

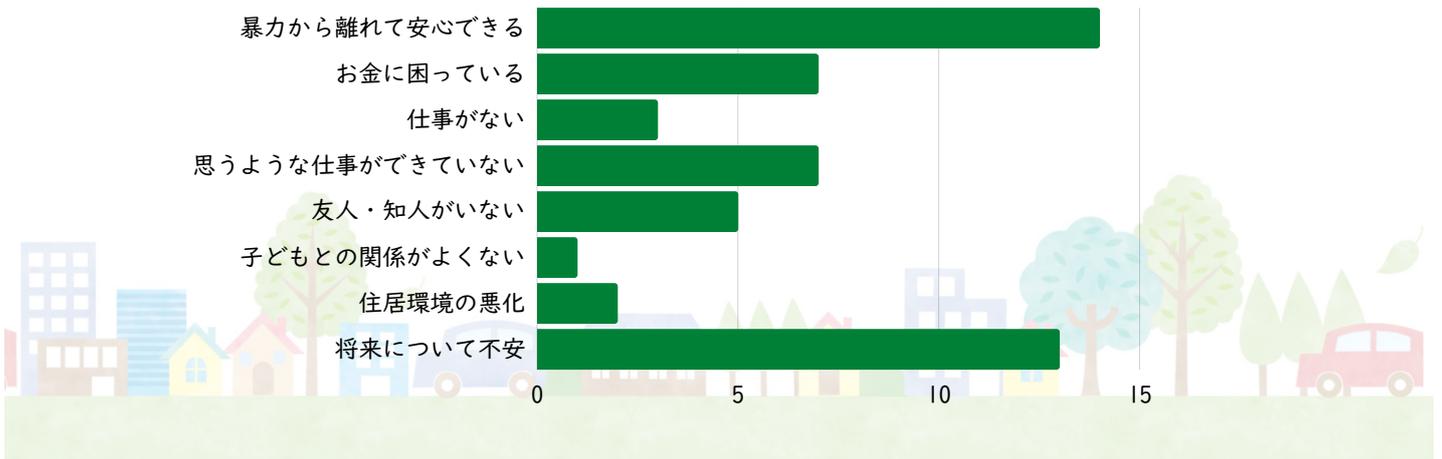
- 仕事が変わったり辞めたりといったことで、不安になった時に周期的に体調が悪くなる。
- 複雑性PTSDと診断された。
- 夫と別れたことは精神的には楽になりましたが、離婚後、あまりの貧困からストレスで体調が悪くなりました。加えて子どもも不安からか、夜眠るときに、私の背中を足でぐりぐりしてくるから眠れなくてしんどくて。あまりに睡眠がとれないので、殺してしまいたいと思ったこともある。
- 私自身が鬱になり、精神的バランスを崩した。何もしたくない、息吸って 仕事する、という生活が何年も続いた。
- 別居後、調停のストレスから一時的に体調が悪くなった。頭痛。吐き気。食べても吐く等。
- フラッシュバックに近い。向こうに追いかけて回されて殺されそうになる夢ばかり見た。





## 1-1. 本人の健康状態

②夫と別れてからのあなたの生活状態はどうか？【複数回答】



## 1-1. 本人の健康状態

③離婚後、あなたの健康のためにどのような支援があったらいいですか【自由記述】

【支援の充実】

- 平日は働いているため支援を受けることができない。土日祝日にも支援が欲しい。
- 事前予約の手続きが必要なく、助けてほしいときにすぐ助けてくれる制度があればいいのと思う。  
。いつ何があるかわからない。
- 心身の健康のためにも、経済的支援をして欲しい。
- 調停中にカウンセリングが欲しかった。
- 追跡されない、安全な住居が欲しかった。長男は転校したら学校に行けなくなるのでは と思い、  
同じ校区内で転居した



## 1-1. 本人の健康状態

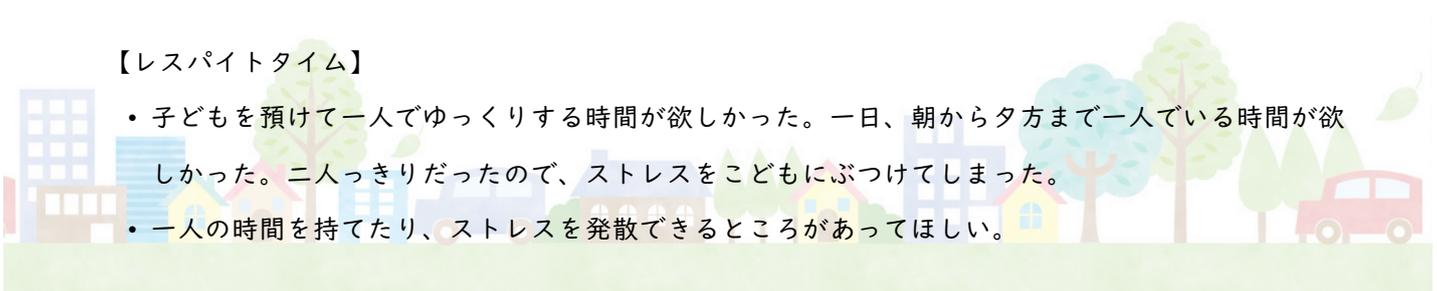
③離婚後、あなたの健康のためにどのような支援があったらいいですか【自由記述】

【子育てに関する支援】

- 一日、数時間でも無料で、こどもを預かってくれるところが欲しかった。
- 夜勤のために安心して子どもを預けられる夜間の保育施設が欲しい。

【レスパイトタイム】

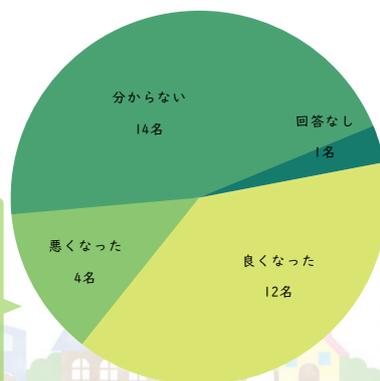
- 子どもを預けて一人でゆっくりする時間が欲しかった。一日、朝から夕方まで一人でいる時間が欲しかった。二人っきりだったので、ストレスをこどもにぶつけてしまった。
- 一人の時間を持てたり、ストレスを発散できる場所があってほしい。



## 1-2. 子どもの健康状態

①夫と別居してから、あなたのお子さんの健康状態はどうですか？

- もともとの子どもの持病が悪化した。医者からはストレスで出ているのでは、と言われた。
- こどもが発達障害と言われて母子で3か月に1回、カウンセリングを受けている。こどもの多動は落ち着いた



- 母親に対して甘えるようになった。
- 大人の男性を怖がらなくなった。
- よくしゃべるようになったり、前向きな発言が増えた。
- ひとり毎月病院に行く程、体調を崩す子だったが、別居してからはそれがなくなった。





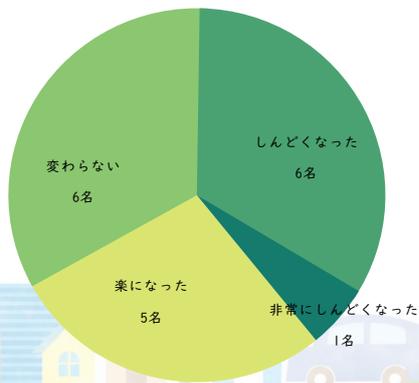
# 2019年調査結果

1. 本人とその子どもの健康・生活状態
2. 子育ての困難
3. 就労状況
4. 住居問題



## 2-1. 別居後の子育て

①別居後あなたの子育ては変わりましたか？



【選択式】※複数回答

- 相談相手や子育てを助けてくれる人がいない (3名)
- 子どもの問題行動 (3名)
- 保育所に預けれない (1名)
- 育児不安が強い (1名)
- 母子関係が悪化した (1名)

【自由回答】

- 相談相手や子育てを助けてくれる人が周囲にいない。
- (しんどさの) 最初は、保育所に入れなかったこと。児童養護施設に預けてまで働けなければならなかった。一か月間、子どもは施設に入った。
- 夫からの養育費も全くない中で、誰からの支援もなく、お金の苦労が絶えなかった。
- 子どもの障害のことがしんどかった。
- 息子の将来がどんな風になるか心配。私が病気になったら息子がどうなるかと不安。



## 2-2. 別居後の母子関係

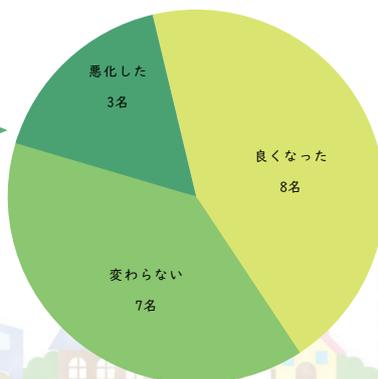
### ①別居後の母子関係はどう変化しましたか？

#### 【選択式】

- 子どもの問題行動（2名）
- 子どもと過ごす時間がない（2名）
- 母親の言うことを聞かない（1名）
- 不登校（1名）

#### 【自由回答】

- 離婚後は小さかったが、成長するにしがって反抗期に入ったところから悪化した。



#### 【自由回答】

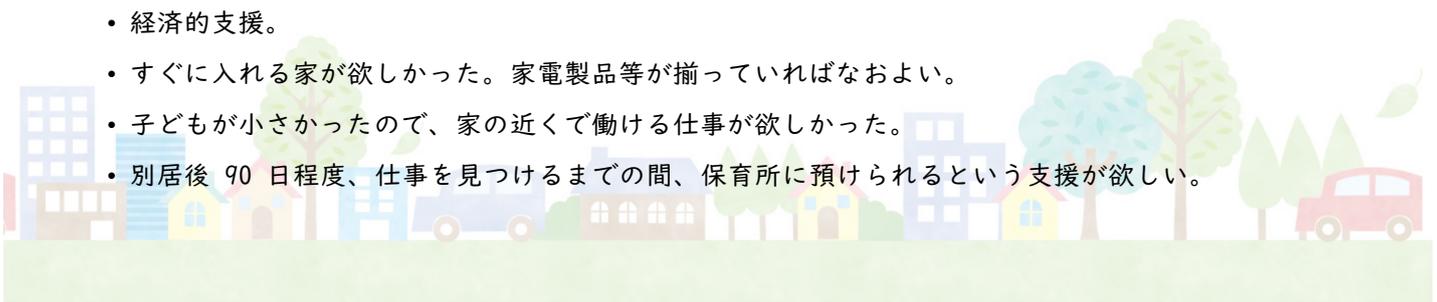
- 小学生の子どもについては、カウンセリングが非常にありがたかった。
- 子どもたちが一年ずつ成長したというのもあるが、手が離れたというのもあるが、私の精神状態が安定したことが大きいと思う。
- こどもと私とあまり会話する時間なかった。しかし今は二人だから私と話ができる。
- 夫から叩かれたり、暴力がなくなったことで、お互いに信頼できるようになった。
- 自分らしい子育てができるようになった。
- 別居して安心できるようになった。

## 2-3. 別居後の母子関係・子育て支援

### ①あなたや子どもに、どのような支援があれば子育てが楽になり、母子関係が今より改善できると思いますか？【自由回答】

#### 【新たな生活への支援】

- 住居と職業とお金。生活するために必要。
- 経済的支援。
- すぐに入れる家が欲しかった。家電製品等が揃っていればなおよい。
- 子どもが小さかったので、家の近くで働ける仕事が欲しかった。
- 別居後 90 日程度、仕事を見つけるまでの間、保育所に預けられるという支援が欲しい。





## 2-3. 別居後の母子関係・子育て支援

①あなたや子どもに、どのような支援があれば子育てが楽になり、母子関係が今より改善できると思いますか？【自由回答】

### 【子どもへの支援】

- こどもをケアしてくれる大人が地域にいて欲しい。
- 私以外、親以外の大人が子どもに関わること。
- アウトドア（釣り、キャンプ、バーベキューなど）に親子で参加できる行事。
- 塾の費用。

### 【相談体制・支援体制の強化】

- カウンセリング。
- 母子家庭への支援の情報を欲しかった。



## 2019年調査結果

1. 本人とその子どもの健康・生活状態
2. 子育ての困難
3. 就労状況
4. 住居問題



## 3-1. 就労状況と月収

<参考>

母子家庭の平均就労収入(年間)：200万円

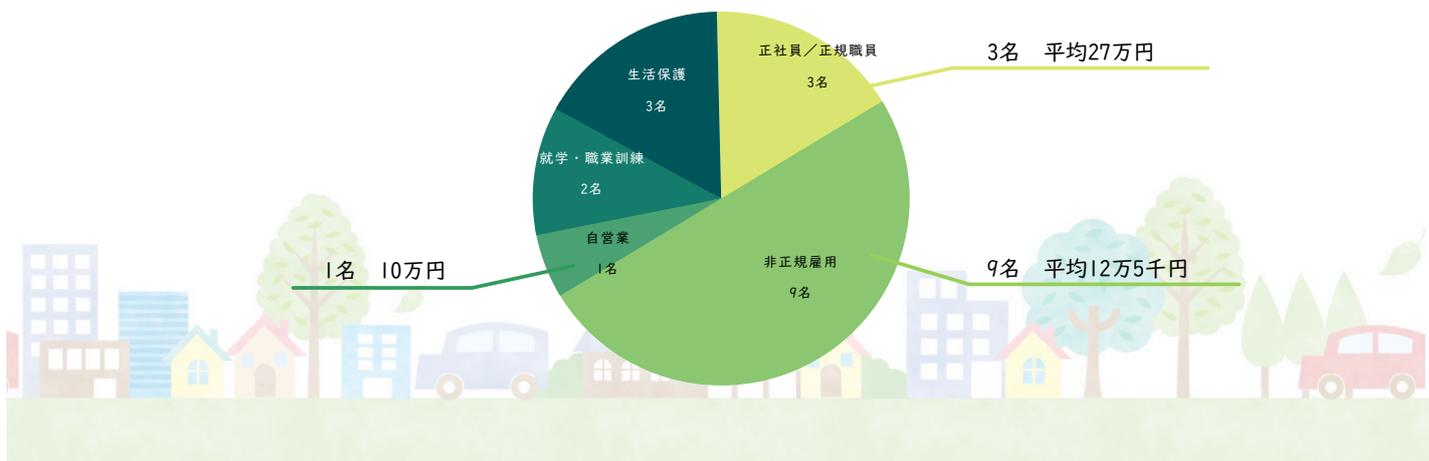
父子家庭の平均就労収入(年間)：398万円

(厚生労働省「平成28年度全国ひとり親世帯等調査」より)

子育て世帯の平均世帯収入(年間)：683.2万円

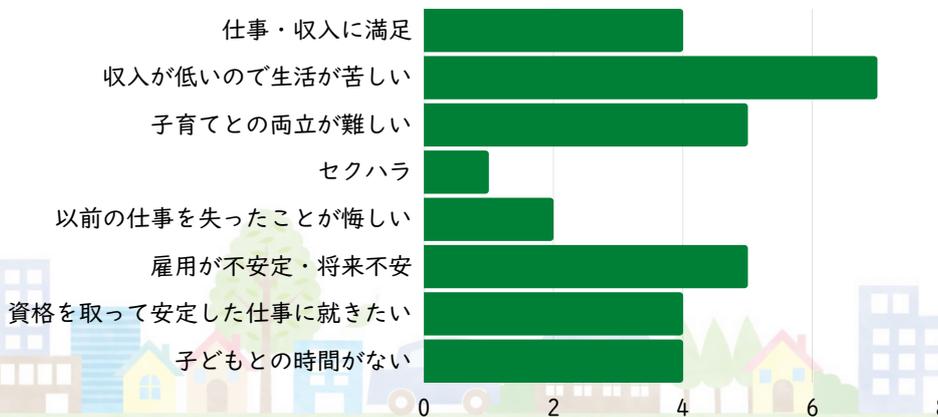
(労働政策研究・研修機構「第4回子育て世帯全国調査」(2017年)より)

- ①現在の就労状況を教えてください
- ②(就労している方へ)現在の月収について教えてください



## 3-2. 現在の仕事について

- ①現在の仕事について、どう感じていますか？【複数回答】



### 【自由回答】

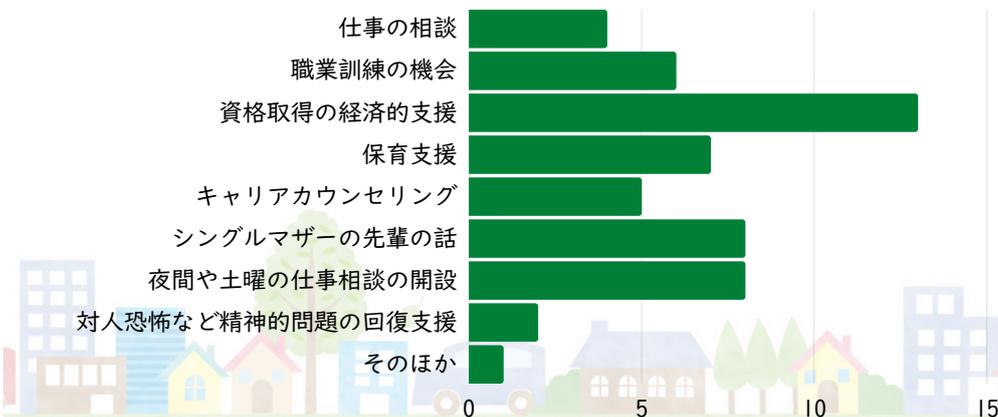
- ・以前の仕事とは関係のない仕事をしている。
- ・雇用が毎年更新契約なので不安。毎日必死なので余裕がない。
- ・出張残業できない事がもどかしい。
- ・本当に子どもと過ごす時間がない





## 3-3. 別居後の仕事に関する支援

①仕事について、あなたはどのような支援があると良いと思われますか？【複数回答】



### 【自由回答】

- 疾病休暇、長期休暇の保障がなく、日給・時給で働いていると収入0円になる。
- 土日の保育支援、土日祝日の学童の受け入れ。
- 病児保育の受け入れ先をもっと増やしてほしい。



## 2019年調査結果

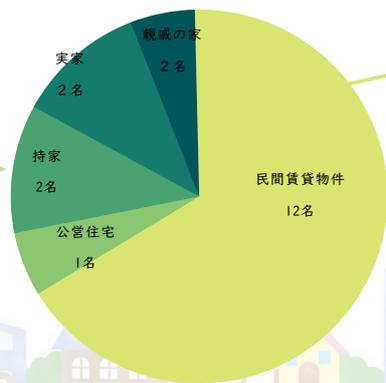
1. 本人とその子どもの健康・生活状態
2. 子育ての困難
3. 就労状況
4. 住居問題





# 4-1. 現在の住居について

①現在、どのような住居に住んでいますか？



持家の2名は、いずれも元々の住宅で夫との離婚時に家を出ていない。

家賃平均 60333円

就労している人の平均：65000円  
就労していない人の平均：53800円



# 4-1. 現在の住居について

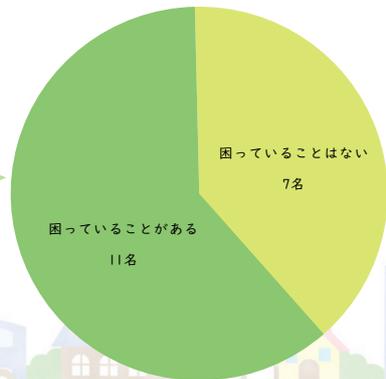
①今の住居で困っていることはありますか？

【選択式】※複数回答

- ・家賃が高い (5名) ・狭い (1名)
- ・古すぎる (5名) ・交通の便が悪い (1名)
- ・日当たりが悪い (2名)

【自由回答】

- ・子ども一人に部屋が一つ欲しい。最低 2DK に住みたい。風呂とトイレがついていること。
- ・水漏れ、断熱がなく日当たりがよすぎて、夏暑く冬寒い。
- ・古いので耐震が心配。
- ・治安が良くない喧嘩や暴走族で通報したこともある。
- ・母子家庭家賃補助が欲しい。



「困ってない」と語られる方の中には、今は困っていないけれども過去に困っていて引っ越しを行った…という調査協力者も居ました





## 4 - 2. 別居時の住宅確保について

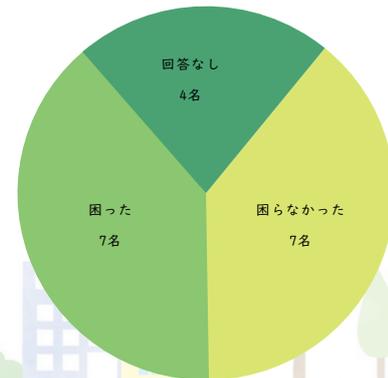
①あなたは夫と別れたいと思ったときに、住宅の確保で悩んだことはありますか？

### 【選択式】※複数回答

- 家を借りる資金がない（5名）
- 行政に相談したが居住支援はなかった（2名）
- 家賃が高い（4名）
- その他（1名）
- 保証人がいない（3名）

### 【自由回答】

- 最初に借りた家は下に工場があり、化学薬品のような臭いがきつくてつらかった。子育て環境的にもひどかった。
- すぐに入れる家が見つからなかった。レオパレスも入居に1週間かかった。民宿に1週間いた。
- 保証人は父がなってくれたが、実家は夫が来る恐れがあり行けなかった。



## 4 - 2. 別居時の住宅確保について



③離婚後の住宅確保についてどのような支援があれば良いですか？住居について、どのような住まいだったら良いと思われますか？

### 【家賃・賃貸時に関する支援】

- 家賃補助。
- 低家賃ですぐに入れる。
- 保証人不要
- 母子家庭に特化した公営住宅

### 【住環境】

- 学校・保育所が近い
- 医療機関が近くにある
- 一人に一部屋が欲しい、家賃は 3万円程度。





## 4-3. DVから逃れる時に希望する支援

①あなたがDVから逃れたいと思ったときに、どのような支援があれば良かったですか

### 【生活に関する支援】

- すぐ入れる住居がある。無料か、低家賃。3万円ぐらい。
- 保育所にすぐ入れる。
- 金銭的援助というか、お金が0円でも生活ができる状態。身一つでオッケーなところ。
- 仕事が見つかるまでの経済的支援。
- 家事支援が欲しい。

### 【支援体制】

- 支援の一元化。何回も同じことを書かなければいけない。個人情報本人が同意すれば共有してほしい。
- DVから逃げたいと思った時に、経済と住居が合体していないと苦しい。



## まとめにかえて

- DV被害女性への総合的支援のさらなる充実の必要性
- DV被害女性の子どもたちへの支援の必要性
- 母子ともに孤立しない社会・地域づくりの必要性



## 1. DV被害女性への総合的支援のさらなる充実の必要性



### 居住支援

夫のもとから逃れた女性たちが家を借りる際には初期費用や保証人の問題がある。民間賃貸住宅への入居が多いが、家賃は大きな負担となっている。



### 経済的支援

今回の調査では、非正規雇用で働くシングルマザーが多く、収入も正規雇用に比べて低かった。非正規雇用働きながら、経済的な不安を抱えている。



### 心理的支援

今回の調査では、カウンセリング支援を求める調査協力者が多い。離婚後にPTSDになったり、精神的に体調を崩すことも。



### 就労に関する支援

今回の調査では、資格取得のための経済的支援やキャリアカウンセリング支援を希望するシングルマザーが多かった。



### 子育て支援

保育所への入所や、夜間保育・病児保育、学童保育の拡充を求める声が今回大きかった。シングルマザーが安心して働くためにも、安心して子どもを預けられる環境が必要である。

## 2. DV被害女性の子どもたちへの支援の必要性



### 心理的支援

DV家庭で育った子どもはその影響が長く続くことがある。適切な心理的ケアを適切なタイミングで行うことは、子どもが安心安全に暮らしていくことにつながる。



### 学習支援

経済的な余裕がないシングルマザーにとって、子どもを塾に通わせることは難しい場合もある。今回の調査でも、学習支援を希望する声が出ている。



### 大人との繋がり

今回の調査では、自分に万が一のことがあった場合に、子どもがどうなるか心配という意見が多く出た。母親以外の信頼できる大人との繋がりが欲しいと感じていることが分かった。



### 3. 母子ともに孤立しない社会・地域づくりの必要性



#### 母子を孤立させないための仲間づくり

DVから逃れてきた女性たちは、これまでの全ての繋がりを断っている場合も少なくない。そのような彼女たちが同じような経験をした人と出会い、気持ちを共有し、自分らしさを取り戻し、自信を回復していくことのできる場所や機会と、そのための見守りや支援をできるサポーターからなる自助グループの育成が必要である



#### 母子を孤立させないための地域づくり

母子が地域のなかで安心して生活していくためには、地域住民の理解と支援が重要である。地域住民がDVに対する正しい知識と支援について理解することによって、貧困と孤立に悩むシングルマザーと子どもたちへの支援の輪が広がることに繋がる。支援の輪が広がることは、子どもが親以外の信頼できる大人とつながることのできる仕組みをつくることをも意味する。